



令和3年産（令和2年播種）



麦類の生育概況 vol.5

埼玉県マスコット
「コバトン」

（令和3年4月5日現在）
埼玉県農業技術研究センター

要 約

- ◎気象概況：3月は記録的な高温で、降水量は中旬がかなり多かった。
- ◎生育概況：二条大麦は出穂始～揃となっており平年よりやや早い。小麦、大麦とも全般に穂数がやや少ない傾向。一部ほ場で播種後の乾燥による生育ムラがみられる。
- ◎今後取るべき技術対策
 - ・追 肥：麦種、品種と生育に合わせた追肥を実施する。
 - ・排水対策：排水機能を保つよう明渠と排水溝の点検補修を行う。
 - ・雑草防除：カラスノエンドウ、カラスムギなど、収穫物に混入する恐れのある雑草は確実な除草を行う。
 - ・病虫害防除：麦の生育に合わせた赤かび病防除計画をたて適期に防除を行う。

1 気象の概況

3月の平均気温は期間を通して平年を上回り、月平均では平年より 3.7℃高かった（観測史上 1 位）。降水量は 13 日に 60.0mmのまとまった降雨があり、月合計では平年比 142%であった。日照時間は期間を通して平年並み～やや多く、月合計では平年比 106%であった。

2 生育の概況

（1）センター内生育相

ア 小麦（さとのそら：11月10日播種）

先月と同様に、高温で推移したことから葉位の進展は早く、草丈は平年を上回って推移しているが、莖数は弱小莖の夭折が急速に進み、平年を下回って推移している。穂数は平年より少ない見込みである。

莖立期は平年より2日早かった。主稈総葉数は平年よりわずかに多く、出穂期は平年（4月11日）より4～5日程度早まる見込みである。

イ 大麦（彩の星：11月10日播種）

小麦同様、生育が早まり、草丈は平年を上回って推移しているが、莖数は弱小莖の夭折が急速に進み、平年を下回って推移している。穂数は平年より少ない見込みである。

主稈総葉数は平年よりわずかに少なく、出穂期は平年より9日早かった。

(2) 県内全般

3月の高温により生育が早まった。大麦は出穂始～揃である。小麦は莖立ち期～穂ばらみ期を迎えている。主に11月下旬播き以降で播種後の乾燥の影響を受けたほ場では生育が回復できず生育ムラがみられる。また、急激に暖かくなった影響で弱小莖が夭折し小麦、大麦とも穂数は少ない傾向がみられる。

3 今後の生育予測

(1) 気象予測

1か月予報（気象庁4月1日発表）では、向こう1か月の気温は高い見込み。また、3か月予報（同3月24日発表）では、向こう3か月の気温は高い見込み。降水量は平年並～多い見込みである。

(2) 生育予測

今後、気温は高い予報のため、出穂期、成熟期は前進すると考えられる。穂数の少ないほ場がみられることから、穂数不足さらに強制的な登熟による細麦の発生や減収が懸念される。

4 今後取るべき技術対策

(1) 追肥

「さとのそら」は、出穂2週間前に窒素成分3～4kg/10aを目安に施用する。

(2) 排水対策

降雨が多い予報のため、排水対策はしっかりと行う。莖立期以降のまとまった降雨は、根の機能を低下させ湿害を助長する。麦踏み等で明きょが埋もれていないか、外部の排水路としっかり連結されているか等を確認し、不備があれば速やかに補修する。

(3) 雑草防除

莖立期を過ぎると使用できる除草剤が限られるため、早めに雑草の種類と葉齢を確認し、処理適期を逃さないよう防除を行う。特に、カラスノエンドウ、カラスムギなど、収穫物に混入する恐れのある雑草は確実な除草を行う。

(4) 病虫害防除

赤かび病の防除は必ず実施する。防除適期は下表を目安にする。

平年の出穂時期は、11月播きの小麦が4月中旬、大麦は3月末～4月上旬であり、12月播きはこれより数日～10日程度遅くなる。

※赤かび病防除の目安

小麦	<ul style="list-style-type: none">• 出穂から7～10日後を目安に開花初めを確認し、直ちに薬剤を散布。• その後、降雨が継続した場合、開花10日後に追加の薬剤を散布。
ビール麦 (二条大麦)	<ul style="list-style-type: none">• 穂揃期の10日後に薬剤散布。
六条大麦	<ul style="list-style-type: none">• 穂揃期に薬剤を必ず散布。• その後、降雨が継続した場合、開花10日後に追加の薬剤を散布。

解析・考察に用いた具体的数字

1 3月の気象表(熊谷気象台日別測定値から集計)

半旬	平均気温(°C)		最高気温(°C)		最低気温(°C)		降水量(mm)		日照時間(hr)	
	本年	平年	本年	平年	本年	平年	本年	平年	本年	平年
1	9.1	6.2	15.0	11.8	3.5	1.4	6.5	8.5	30.7	32.4
2	9.7	6.8	14.9	12.6	5.8	1.9	0.0	8.8	34.2	33.4
3	10.7	7.6	15.9	13.3	5.9	2.6	60.0	9.5	35.3	33.3
4	12.1	8.3	18.2	13.9	6.7	3.4	0.0	11.5	37.5	32.0
5	11.8	8.9	16.7	14.4	6.6	4.1	14.5	13.3	27.5	30.6
6	15.3	9.8	20.7	15.2	10.4	4.9	19.0	16.6	42.1	36.7
平均	11.6	7.9	17.0	13.5	6.6	3.1	合計 100.0	70.5	207.3	196.0

注. 半旬数値は熊谷気象台日別測定値から集計。ただし、月平均、合計値は気象台値

2 生育状況

(1)11月10日播種

品種名	調査日	草丈		茎数		葉位		風乾重		風乾歩合	
		本年 (cm)	平年比 (%)	本年 (本/株)	平年比 (%)	本年 (L)	平年差	本年 (g/100本)	平年比 (%)	本年 (%)	平年差
さとのそら	3月11日	28.7	114	10.1	98	9.8	0.7	165.6	121	20.0	3.3
	3月22日	42.4	113	6.7	77	11.1	0.9	281.9	127	17.5	-1.2
	3月31日	55.8	107	4.3	64	11.8	0.6	363.9	94	22.3	0.4
彩の星	3月11日	44.8	116	10.3	75	10.3	1.1	317.8	115	19.5	5.3
	3月22日	68.2	130	7.0	58	10.3	0.3	466.0	111	18.4	2.5
	3月31日	85.7	117	6.1	66	10.3	-0.2	575.2	89	24.2	5.1

注1.さとのそら平年値は過去7年間の平均値。彩の星平年値は過去9年間の平均値。

注2.風乾重は100個体当たりグラム。平年比は%。風乾歩合は風乾重/生体重。

(2)11月24日播種(参考値)

品種名	調査日	草丈	茎数	葉位	風乾重	風乾歩合
		本年 (cm)	本年 (本/株)	本年 (L)	本年 (g/100本)	本年 (%)
さとのそら	3月4日	19.2	8.7	7.2	55.2	18.9
	3月14日	28.8	8.8	8.5	99.9	14.6
	3月25日	42.0	8.1	9.8	217.3	17.9
彩の星	3月4日	25.1	11.9	7.3	110.1	15.2
	3月14日	40.8	11.9	8.8	234.0	13.5
	3月25日	64.3	9.3	9.7	398.3	14.1

注1.11月24日播種は今年度から調査開始(平年値はない)。

3 出穂期および穂数予測

(1)11月10日播種

品 種 名	茎立期			出穂始(月日)			出穂期(月日)			穂揃期(月日)			予測穂数(本/株)		
	本年	平年	平年差	本年	平年	平年差	本年	平年	平年差	本年	平年	平年差	本年	平年	平年比
さとのそら	3/10	3/12	-2	-	4/8	-	-	4/11	-	-	4/13	-	3.4	4.6	74
彩の星	2/19	2/28	-9	3/15	3/25	-10	3/20	3/29	-9	3/22	3/31	-9	5.3	7.0	76

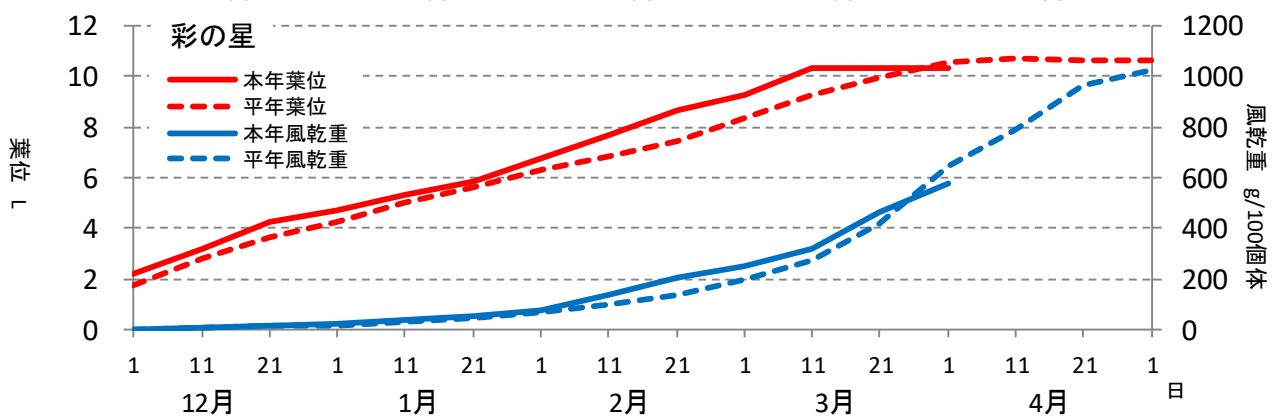
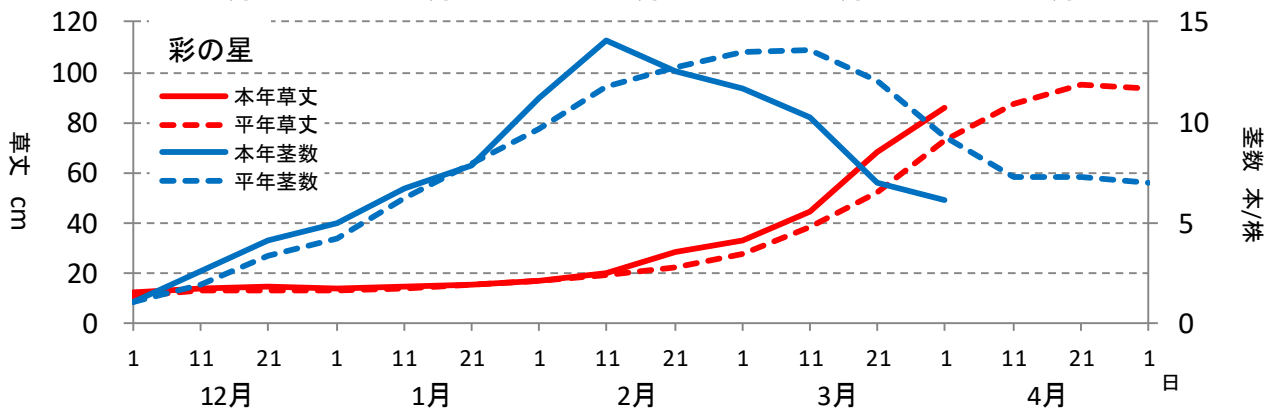
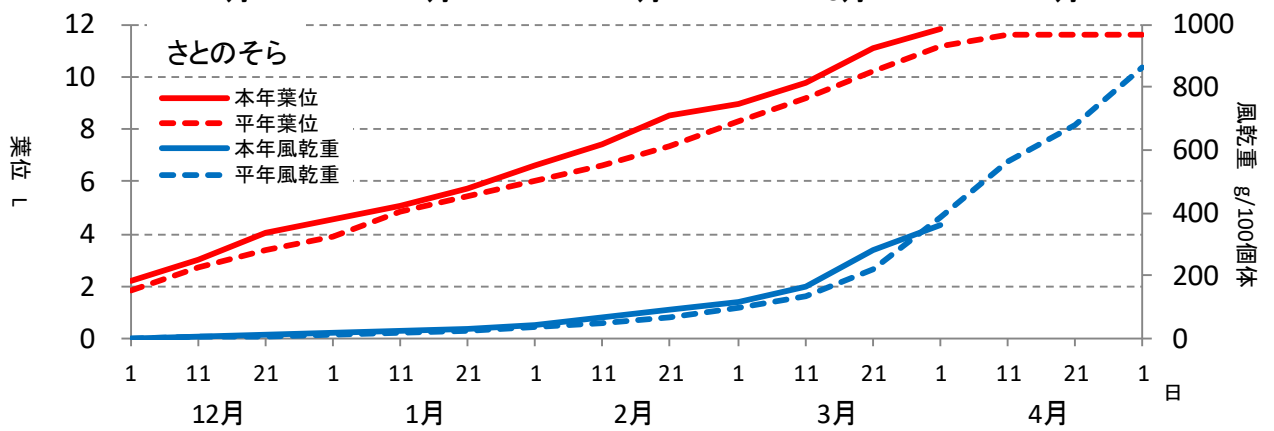
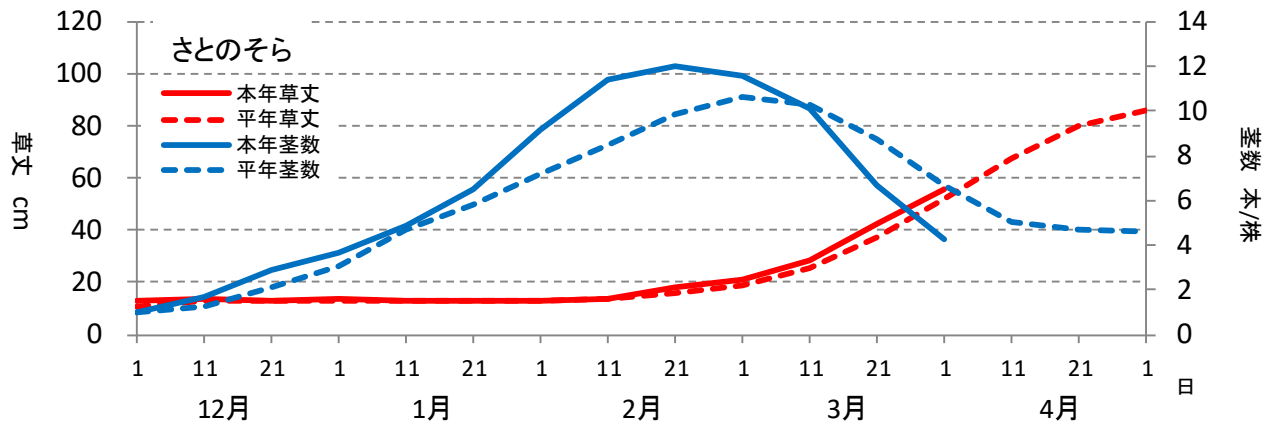
注1. 穂数は調査株主茎の概ね 2/3以上の長さの分けつを計数した。

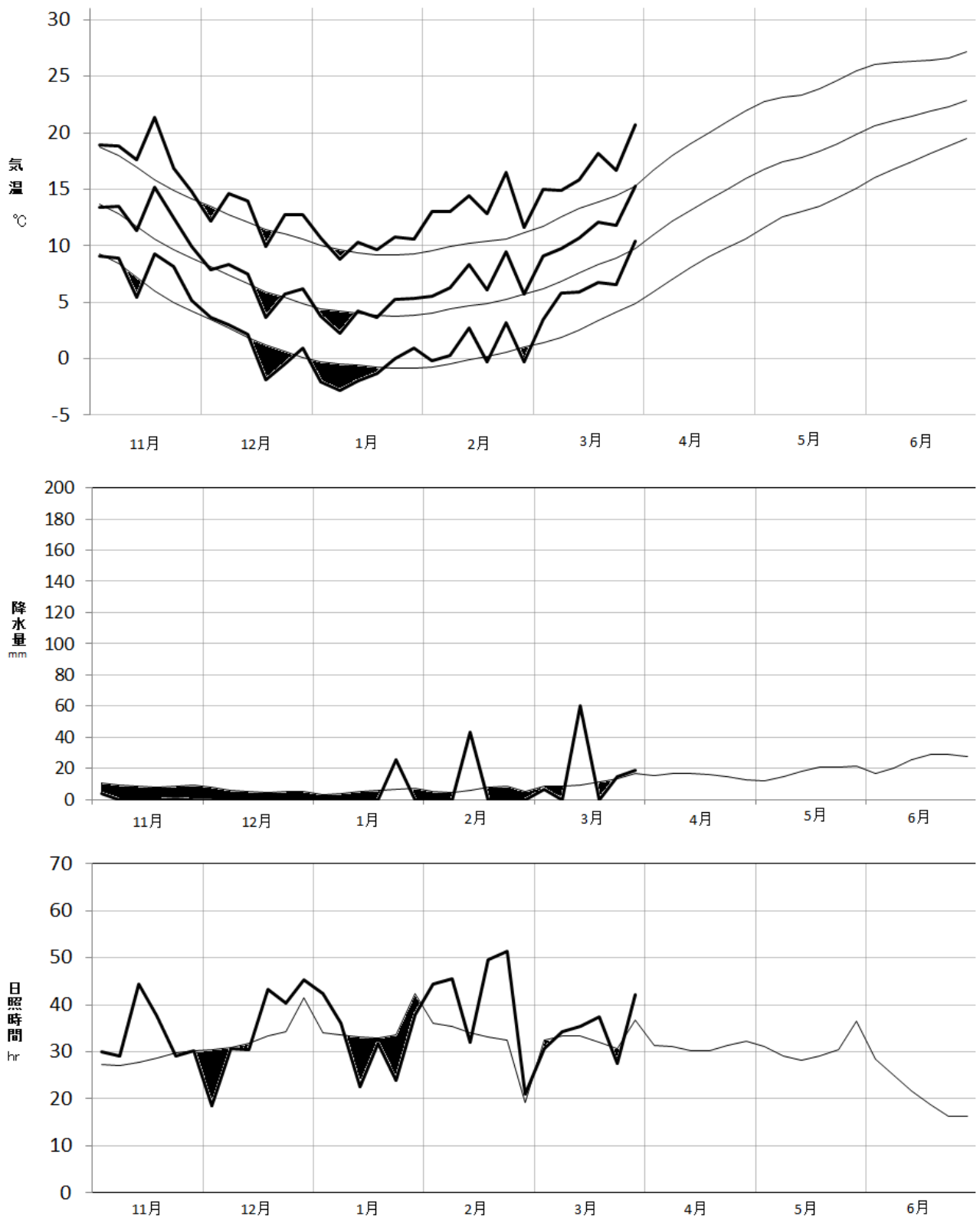
注2. 穂数平年値は概ね分けつの切上がりが終了したと思われる5月1日調査茎数の平年値。

(2)11月24日播種(参考値)

品 種 名	茎立期	出穂始(月日)	出穂期(月日)	穂揃期(月日)
	本年	本年	本年	本年
さとのそら	3/15	-	-	-
彩の星	3/6	3/26	3/29	3/31

3 生育経過





令和2年播(3年産)冬作期間気象図
(熊谷地方気象台測定値)